

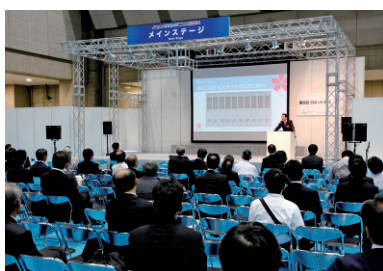
## オフィシャルイベント 第6回 ロボット大賞



①受賞者記念撮影



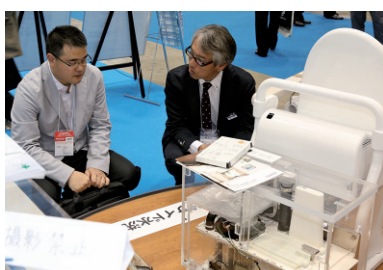
②ロボット大賞受賞（富士機械製造）



③ステージ写真



④手術支援ロボット（デンソー）



⑤排泄支援ロボット（TOTO）

名称：第6回ロボット大賞  
 会期：2014年10月15日（水）～17日（金）  
 会場：東京ビッグサイト  
 主催：経済産業省／（一社）日本機械工業連合会  
 協力：（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構／（独）中小企業基盤整備機構／  
 （一社）日本ロボット工業会／（一社）日本ロボット学会／  
 （一社）日本機械学会／（一社）人工知能学会／（一社）日本人間工学会／  
 （公社）計測自動制御学会／（公財）テクノエイド協会／日本科学未来館  
 ※順不同

対象：関係者および一般  
 来場者数：16,626人

### ■内容

#### ●「第6回ロボット大賞」表彰式 10月15日（水）

全86件の応募より、「第6回ロボット大賞」（経済産業大臣賞）を含めた、全10件の優れたロボット・ロボットに関わる部品、ソフトウェア等が表彰された。「第6回ロボット大賞」には、産業用ロボット部門より、電子部品の実装を行う「モジュール型高速多機能装着機 NXT III」（富士機械製造㈱）が選ばれた。その他、サービスロボット部門では、住宅の床下点検を行う「狭小空間点検ロボット『moogle』」（大和ハウス工業㈱）や、要介護者のための移動が可能な排泄支援ロボット「ベッドサイド水洗トイレ」（TOTO㈱）等が受賞した。審査員特別賞には、ロボット技術を応用した先端リハビリテーションを実践する兵庫県立リハビリテーション中央病院が選ばれた。

今回の応募の中には、ロボット技術が社会の中で具体的に実装されている事例が数多く見受けられた。

※写真①受賞者記念撮影  
 写真②ロボット大賞受賞（富士機械製造）

#### ●受賞担当者によるプレゼンテーションステージ 10月15日（水）

10件の受賞ロボットの担当者より、各ロボットの特長や開発秘話などを紹介。約300名の参加者があった。

※写真③ステージ写真

#### ●受賞ロボットの合同展示 10月15日（水）～17日（金）

10件の受賞ロボットの合同展示を行った。デンソーの「手術支援ロボット iArms」は、来場者がロボットに座り、ロボットの手術時の動きを体感したほか、TOTOの「排泄支援ロボット」は、トイレの内部を見ながら、ロボット技術がどのように使われているのかを紹介した。

会期中の来場者は前回の9,413名より、約2倍の16,626名に上り、特にサービスロボット分野に対する注目の高さが表れるイベントとなった。

※写真④手術支援ロボット（デンソー）  
 写真⑤排泄支援ロボット（TOTO）